

一般財団法人 沖縄県環境科学センター
 地球温暖化からサンゴを守ろう！
 ～一般財団法人 沖縄県環境科学センターによるサンゴ礁調査船"Varuna"の運航に係るカーボン・オフセット～

当センターがサンゴ礁等の環境調査を実施する際に、保有するサンゴ礁調査船"Varuna"の運航に伴って排出されるCO2を全量オフセットする。ISO14001を取得しており、排出削減努力を促進し、残ったCO2排出量についてJ-VERを活用してオフセットを実施した。



取組の概要

当センターがサンゴ礁等の環境調査を実施する際に、保有するサンゴ礁調査船"Varuna"の運航に伴って排出されるCO2を全量オフセットする。
 環境へ配慮したサンゴ礁調査を実施すると同時に、自然環境保全と地球温暖化対策が一体となった取組みをPRし、サンゴ礁保全と地球温暖化対策の重要性を広く伝えることを目指す。

オフセットの分類 | 自己活動型 | 認証取得(制度名) | カーボン・オフセット認証

取組の実施時期

クレジット	クレジットの種類	J-VER
	プロジェクトの種類	森林吸収系
	プロジェクトの名称	国境の島対馬市の市有林における大陸とのつながりを示す多様な生態系の保全のための森林吸収(間伐促進)プロジェクト
	プロジェクト実施地	長崎県対馬市

オフセット量 | 7 tCO2

無効化日 | 2013年12月15日

販売数、参加者数等 | -

価格、参加費、クレジット費用の負担 | -

オフセット・プロバイダー | カーボンフリーコンサルティング株式会社

オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法 | GHG排出量の削減努力

対象：・サンゴ礁調査船"Varuna"の運航による軽油の使用(2012年9月～2013年8月) 算定方法： (軽油の使用量) × (排出係数)	タクシーにエコカーを導入することで、CO2排出量削減努力を行なっている。具体的には以下の車両がある。 ・LPG/電気/ガソリンを動力、燃料とするもの ・BDFを燃料とするもの また、食用油の回収とBDFの精製をグループ企業である株式会社エコ・ピットと共同して取り組んでおり、島内の食油廃棄率を減らすことでCO2排出量削減を図っている。
---	--

取組んだことによるメリット・良かった点 | 取り組む際に工夫した点・苦労した点

宣伝効果 | 宣伝へと繋がるように工夫した。

【問い合わせ先】
 一般財団法人環境科学センター
 環境科学部生活環境課 迫田 拓
 TEL: 098-875-5208
 Email: sakoda@okikanka.or.jp
 ウェブサイト: http://www.okikanka.or.jp/